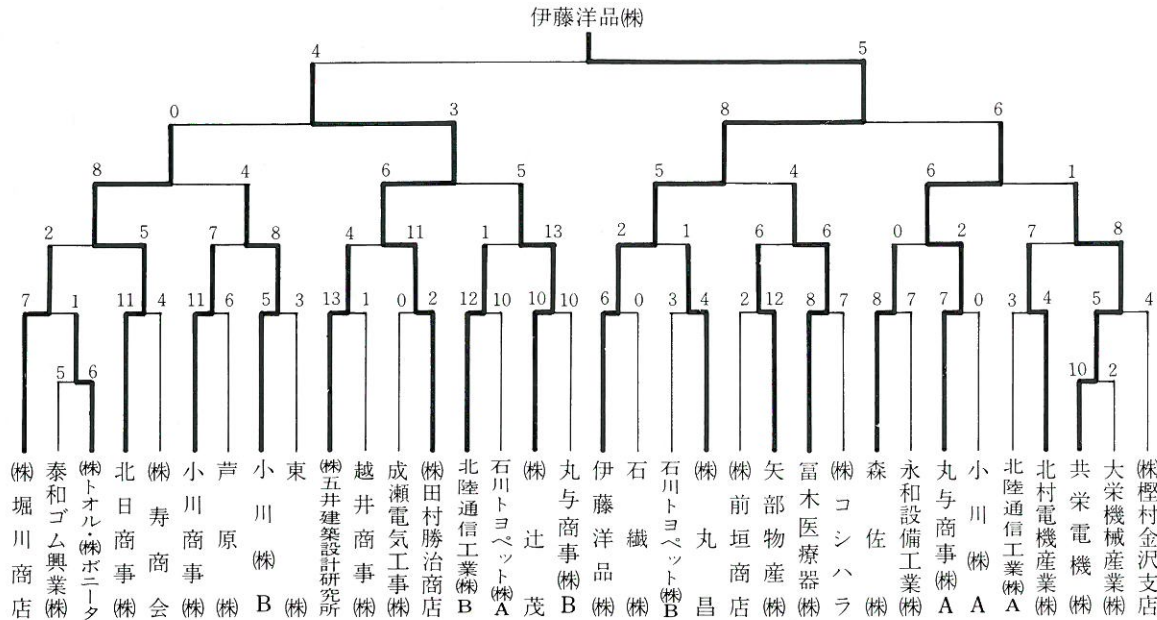


第16回商社対抗野球大会

第16回商社対抗野球大会は、参加34チームにより当センター球場で5月9日(月)早朝6時より第1試合を始め、8月12日(金)午後3時からの決勝戦では、伊藤洋品(株)が(株)田村勝治商店を接戦の末、5対4で破り優勝を遂げた。

優勝 伊藤洋品(株) 第3位 丸与商事(株)A
 準優勝 (株)田村勝治商店 " 北日商事(株)
 最優秀選手賞 伊藤 淳蔵 伊藤洋品(株)
 敢闘賞 吉川 覚 (株)田村勝治商店
 打撃賞 小林 善郎 伊藤洋品(株)



第27号 1983年11月発行
 協同組合 金沢問屋センター
 発行者 小川 甚次郎
 金沢市問屋町1丁目
 電話 37-8585



晩秋の白山スーパー林道

新しい時代の幕明け

協同組合金沢問屋センター 副理事長 辰川 申治

全国にさきがけて完成された金沢問屋センターの出現は、卸売商業団地として正に流通革命の最先端を行くものと自他共に認める快挙であり、これに参加した私達は、本来の協同組合としての事業使命以上に組合員たる自覚と誇りをもつものであります。この建設を決意された先人の勇断と努力に対し敬意と感謝を捧げつつも、早、十六年間の星霜が流れ、この間、絶えず組合の運営と活用のあり方を模索して参ったのであります。

昨年完成十五周年を記念しての一つの事業として企画された金沢流通会館の建設こそは、当組合の将来にかけた一つの大きな賭といわざるを得ません。幸い宗広建設委員長の深謀、各委員の方々の熱心なる験算、各地への研修の結果などが集約されており、小川理事長の決断と、組合員各位の深いご理解、更に県、市ご当局のご協力ご援助によりまして建設工事は着々と捗り、いよいよ明春四月、桜花と共に開館の運びとなりますことは、まことに欣快に堪えません。

流通会館として最も誇るべき一千名を収容できるコンベンションホール「パルス」は、総合大展示、講演会その他の催物会場として多目的に活用され、組合員の便宜はもとより、広く金沢市民にも利用されて金沢問屋センターの名前は地方のみならず全国に広くけん伝されることであらう。

協同組合金沢問屋センターは、その街造り組合員数、その中心となるべき会館とあわせ一応、その姿、形は立派に完成されつつあります。そして会館は新日本海時代の幕明けと共に二十一世紀を担ったスケールの大きな会館であり、時代が要求する多様なニーズに対応し、情報をよりスムーズに提供できるように配慮してあると自負しております。

かくして金沢問屋センターは量、質共に立派にその使命を果して参りましたが、これを引き継ぎ更に団結を強固にして、その内容を充実するための後継者づくりこそ今日私達に課せられた大きな責務であります。

世はまさに工業化社会から情報化社会へと移行し、街のマイコンショップには小・中学生が群がり、企業ではコンピューター、最新のOA機器が煩雑な事務をこどもなげにこなしていく、一つの時代から別の新しい時代へ、今、何かか確実に変わろうとしています。しかもその変り方は、単に変化とか変容といった生易しいものではなく、革命と呼ぶにふさわしい大きな激しい動きなのです。

戦国武将の知恵と決断 その④

上杉謙信のスポーツ精神 さわやかな川中島の決着

戦国時代の特級武将、上杉謙信と武田信玄は、十一年もの長期戦を戦ったが、とうとう結着がつかなかった。そこで、永禄7年(1564年)両将は、一策を案じて、上杉、武田両方から、夫々、一人づつ、豪傑をだし、個人戦の勝負をさせ、その結果で、争点の川中島の所属を決定しようと約束をした。

武田方から安馬彦六、上杉方からは長谷川与五左衛門が撰出された。安馬は鬼をもひしぐ大兵の豪士。長谷川は、見たところ小男。両者は上杉勢、武田勢の見守る中で組打ちをしたが、小兵の長谷川が勝った。武田方は口惜しがって、上杉方へ攻めかかろうとしたのを、信玄は、「愚か者め。約束をした以上は違約はできぬ」と抑えて、川中島を上杉家の領有として帰った。

謙信も信玄もフェアなスポーツ精神を尊重したこ

のエピソードは面白い。後年、信玄は死の床から、子の勝頼に遺言した。「謙信は義人、一旦国を以て之に託する時は、泰山より安し」だから、若輩のお前は、彼にたよれ、謙信は未熟な若年社長が、支持を求めれば、その経営をおびやかすようなアンフェアな真似はしない男だといった。勝頼は「稀代の父」の遺志を、何一つとして守らずに失敗したが、「お願い申すといっていけば、若年ものなどはいじめない男だ」と、永年の敵将から信頼されたところに、謙信のスポーツ精神の権化みたいなさわやかさを見る。当時は良将の誉あつた太田資正(道灌の孫)も、謙信をほめて、猛勇、無欲、廉直、明敏、器量大、慈恵の人と最上級のレッテルを貼った。しかも、よく忠諫を容れるのに、「怒りに任せてやったことは皆エラー」と批判している。謙信は関東経営に当って、鎌倉での関東管領就任式に際して、小事に怒って一関東武将を馬上からひき落したとか、顔を二つ叩いたといわれ、これが一度服した関東武将のレジスタンスをうけるもとなつたというのも、その一例である。天下の名監督が誤解で、選手の顔を叩いたようなもの。フェアな名将にもエラーありで御用心。

企業は勿論家庭内まで浸透してきたコンピューターは、その頭脳部品であるLSI（半導体）の驚異的な進歩によって今やエレクトロニクスは産業界の広範な分野で技術革新を誘発しました。

オフィスオートメーションのネットワーク化による事務作業の効率化、書類のないオフィスワークによって事務の合理化を図り、生産性の向上に資すると共に各種データベースにより必要情報を効率的に取り出す知識の集約化、更にデータ通信、文書通信、ファクシミリ通信などによる会議の削減、テレビ会議システムによる遠隔会議、家庭にいながら仕事をする方法や住居の近くに職場を分散する方法による新しい勤務形態が出現する時代に突入しようとしております。

この新しい時代の幕明けによって、これからどうなるかは到底私達老人達には想像も出来ません。これからの金沢問屋センターの運営は新しい知識と感覚で教育された若い方々におまかせする外はありません。そのために今、私達が出来たことは若い人達の勉強の場として金沢流通会館内にLシステムを有する研修室を作り残すことで精一杯です。

この流通会館の完成が新しい時代の幕明けとなることを切望する次第です。

北東北卸センター視察報告

9月12日から14日迄、企画、事業、近代化、三合合同による北東北の二団地視察を行った。

後発の卸団地ではあるが、ユニークな発想で団地の運営を行っている両組合において、特にどのような分野で共同事業に取組み推進されているか、又組合員の組合に対する意識の高揚や協力度、利用度等を見聞し、当組合に於て取捨選択し、中長期ビジョンの参考に供し、以て組合発展の企画づくりをすることを目的としたもので、概要については次の通り。

協同組合盛岡卸センター

北東北の流通拠点として卸売業180社、トラックターミナル、共同倉庫、集配センターなど流通関連施設の集団化を県、商工会議所、経済同友会等を中心に行政指導のもと、岩手流通センターとして形成、名実共に岩手県の中心的役割を果している。

特に前理事長清水善五郎氏は県会議員でもあった関係上、県の事業的性格で進められて来たよううかがえる。

現在、東北自動車道、東北新幹線の開通に伴い、流通拠点として異業種異形態の複合団地として存在している事は、集合体として時代を先取りした計画的な発想として注目している。

協同組合盛岡卸センターは岩手流通センター内の一区画を占める。岩手流通センター全体の面積は約43万3千坪、内卸センターの面積は約17万坪あって盛岡市より10kmの地点にある。

岩手流通会館は岩手流通センター管理会社の管理下にあり、会館内には岩手流通センター(協)連合会、岩手トラックターミナル(株)、岩手流通輸送センター(協)、岩手倉庫事業(協)と共に(協)盛岡卸センターも入居している。

(協)盛岡卸センターは5部会(繊維、食料、建材、機械、雑貨)あり年間販売高は56年度で2,350億円である。

○施設

流通会館 別会社組織(岩手流通センター管理株)で、卸センターとしては運営費は不要である。

体育館 雇用促進事業団が建設したものを使用している。又、現在500坪2億円で新しく増設中である。

研修室 財団法人盛岡地区勤労者共同福祉センター(市役所内に設置)が運営している。

○共同事業

- (1)共同給油所 共石の権利を取得し業者に委託しており、権利料が収入源となる
- (2)警備事業 警備会社に依頼、共同利用としての事業収入となる。
- (3)保険代理業務 主として損害保険を扱っている。
- (4)共同駐車場 現在無料
- (5)高速道路通行料金別納制度採用

概要は以上の通りであるが、行政指導型として政治力をフルに発揮し、国、県、市より助成・補助等利用出来る面は全て取り入れ、事務局は家賃を支払い、会館運営費など考える必要はないので現在のところ、運営は堅実そのものと言える。

一面、後発なるが故に事業面でもある程度、統一出来たことも利点と言えよう。

盛岡は東北新幹線の終着駅であるが、それが流通業界に及ぼす影響力は現在のところ余り感じられないようである。

協同組合八戸総合卸センター

ここは物流機能と情報機能の高度化を目指し、物流については(株)卸センター倉庫により共同保管、共同配送を行っているのが特徴です。(株)卸センター倉庫は資本金1,000万円、従業員29名で運送許可も持っている。情報管理面については、(株)共同電算センター(資本金3,000万円、従業員9名)で組合と組合員が利用している。

損害保険については、(株)八戸総合卸センター(資本金50万円、従業員0)を設置し損害保険全社の代理店となり66社が利用している。

他に共同警備はやはり66社が利用している。

共同事業の施設としては次のものがある。

○八戸総合卸センター会館(延2,361㎡)

一階 展示会場、食堂、売店、喫茶、研修室

二階 会議室(2)、電算室、応接室

○共同電算センター 5社が利用

○共同倉庫(2棟) 39社が利用

第一倉庫 高床式、平屋建、面積は2,040㎡ある。設備としては固定式パレットトラック、フォークリフト4台、電動式パレットトラックを有している。

第二倉庫 高床式、2階建てで延面積は2,287㎡である。設備は電動パレットトラック、フォークリフト1台、貨物用エレベーター、簡易棚を有している。

○共同配送センター 52社が利用、高床式、一部2階建。1,302㎡、常備車輛19台八戸市内向け1日2回の配送をしている。

○危険物倉庫 利用5社

○共同給油所 利用61社

○共同野積所 利用2社

○共同駐車場 料金は会社2,500円、従業員2,000円不足のため増設

○ガス供給施設

概要は以上の通りであるが、協同組合はいかにあるべきかの理念のもと国や県の補助金制度は出来るだけ利用するも、別会社を作り、活路を求めていく行動力には敬意を表する。

保管配送事業は3年目にして黒字転換、余裕資金を次の投資にあて、新規事業の推進をはかっている。

又、共同電算センターも計算事務共同化事業資金制度を導入して早急に10社以上の利用にして、採算ベースにのせるよう努力している。次のテーマは小口納品業務の共同化をはかりたいとのことで活路開拓事業として助成金の対象になっている。本州の最北端に位置しながらその意欲と実行力を見るべきものがあると言わざるをえない。将来堅実な発展を遂げるであろうと推測される。

結論及び提案

盛岡卸センターは盛岡としての生き方の道を選んで歩いている。よい点は学び、私共も利用出来ることは研究すべきであろう。特に雇用促進事業団による体育館などは用地さえ提供すれば検討すべき課題ではなかろうかと考えます。

八戸卸センターについては別会社を設立して独自の道歩んでいるのは大いに学ぶべき点があると思います。

特に検討を要する点については

- (1) 共同配送について
- (2) 共同倉庫について
- (3) 共同購入について
- (4) 保険業務について

は十分に検討に値するものと思えます。

金沢流通会館が稼働し、将来の組合運営を健全に発展させる為にも共同事業の推進による収益性を十分に考慮する必要があると存じます。

社員園遊会

恒例の社員園遊会は今回11回目を迎え、10月8日会館周辺道路を歩行者天国にしてにぎやかに開催された。あいにくの雨天の中ではあったが、問屋町会館前では、カラオケのど自慢大会やお楽しみクジつき食券が引換えられ、のどに自信のある各社の社員が十八番を競いあい、雨の中の観衆から盛んな声援を受けていた。

A公園では初の試みとしてゴルフパッティング大会や輪投げ大会、手相無料鑑定等が企画されたが、雨のために一部が中止になったこともあり、団地内商社多数の店によって開かれた「のみの市販売大会」にいつものように人気が集まったようである。



金沢流通会館使用料金

かねてより会館運営委員会で協議されていた新会館の使用料金が10月3日の理事会で下記の通り承認されました。

基本的には他会場との兼合いを含めて出来るだけ御利用願う為低価格で設定されています。

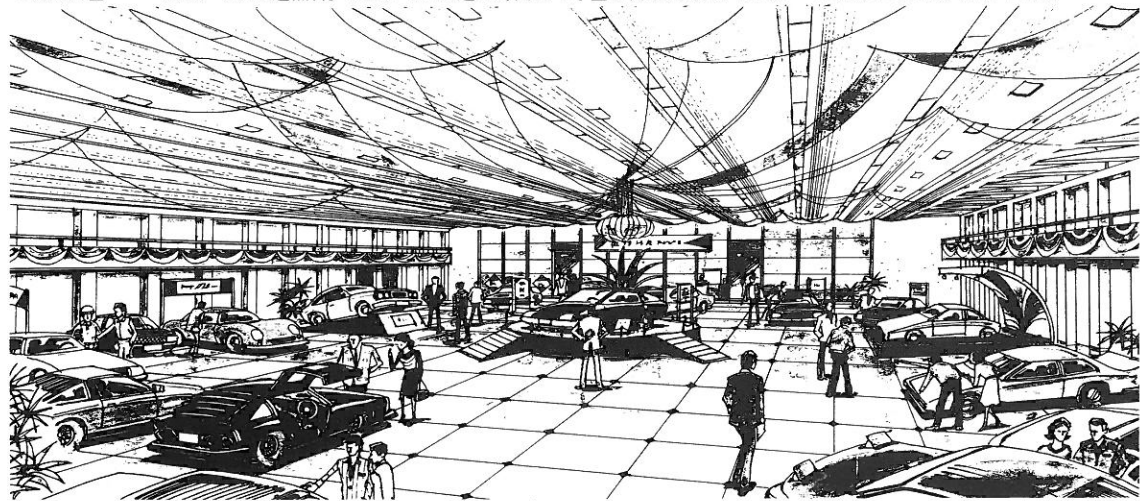
既に宣伝パンフレットは送付させていただきましたが、取引先等にも積極的にPRしていただき、今後益々ご利用下さるようお願い申し上げます。

貸室貸出開始は59年5月からで1年前より受付致しますので早めに計画をたてられお申し込み下さい。尚、完成式典は59年4月21日を予定しています。

施設区分			面積		基本料金				
					全日	午前	午後	夜間・早朝	
			㎡	坪	9:00~18:00	9:00~13:00	13:00~18:00	18:00~1時間につき	
1階	展示	大ホール	全室	1,155	350	150,000	73,600	92,000	20,000
			第1	660	200	96,800	47,600	59,500	12,900
			第2	495	150	68,500	33,600	42,000	9,200
2階	示室	多目的	全室	332	100	45,500	22,400	28,000	6,100
			第1	69	21	10,500	5,200	6,500	1,400
			第2	115	35	17,400	8,800	11,000	2,400
			第3	148	45	22,400	11,200	14,000	3,000
4階	研修室	視聴覚室	全室	198	60	~3時間迄		3時間を超え、1時間につき	3,600
			第1	114	34	10,000	3,000	2,600	
			第2	84	26	6,300	2,100	2,000	
	会議室	和室	72	22	4,100	1,400	1,700		
		談話室	75	23	4,300	1,400	1,700		
		小会議室	36	11	2,100	700	900		

〈別途料金〉

- 予約申込金……基本料金の20%、当日全納、解約は原則として返還しません。(予約申込受付は12ヶ月前から)
- 冷暖房料金……基本料金の30% ● 休日割増料金……基本料金の20%
- 設営料金……基本料金の50%。
- 撤収料金……18:00~20:00迄無料。20:00~22:00迄1時間につき全日使用の10%。22:00~1時間につき全日使用の15%。



第9回 商社対抗ソフトボール大会

9月15日(祭)に準決勝まで消化した第9回商社対抗ソフトボール大会は、19日(月)朝7時より決勝戦を行い、共栄電機(株)が(株)トオル・(株)ポニータ連合チームを破り、2年ぶり4回目の優勝を遂げた。



優勝した共栄電機(株)チーム

- 優勝 共栄電機(株)
- 準優勝 (株)トオル・(株)ポニータ
- 第3位 小川(株)
- " 丸与商事(株)
- 最高殊勲選手賞 先田 治美 共栄電機(株)
- 敢闘賞 荒木 宣之 (株)ポニータ
- 打撃賞 西島 君子 共栄電機(株)

